

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ会報誌

2013-2014年度 RI会長 ロン D. パートン

2013-2014年度 魚津RC会長 若井 貞克



第2905回 例会報告

2014年1月31日

- ・点鐘
 - ・握手
 - ・ロータリーソング
- 「我等の生業」

ゲスト並びにビジターの紹介

魚津西RC会長 原 英高

1月29日、母(敏子)の葬儀に対するお礼を述べられた。

誕生祝 1月18日 寺崎さん



今日は、私の女房の誕生を祝って頂きましてありがとうございます。72歳になります。近頃、腰が曲がり、顔にしわが増え決していい女とは言えませんが、昔から働き好きです。

若い頃、女房が居なくなったら、次は、どのような女性とめぐり合えるのか夢を見ていましたが、現在の心境は、私より早く死なないことを願っています。今日は、ありがとうございました。

開会挨拶 若井会長

皆様、こんにちは。今日は2905回例会です。

1月26日、寺崎夫人誕生日おめでとうございます。また、魚津西RC会長原英高さんようこそお越し下さいました。

ここ数日、春先のような天候が続いています。今は良いのですが夏になると水不足が懸念されます。先日、山歩きをしますと「フキのとう」を見つけました。今年は春の山菜が早く芽吹くのか



など思っています。例年のとおりに雪が降ればアクの強い元気な山菜が取れます。

このような天候は地球温暖化現象でしょうか。地球を良くするも悪くするも我々人間です。2月から世界理解ロータリー月間ですので皆さんも考えてみてはいかがでしょうか。

幹事報告 愛宕幹事

★2月例会案内

7日(金) 卓話 三島さん(サンルート)
14日(金) 卓話 吉森さん(サンルート)
21日(金) 卓話 根岸さん(サンルート)
28日(金) 卓話 谷口さん(サンルート)

★2月SAA補助 生駒さん、平崎さん
池上さん

出席報告 羽田副委員長

★本日の出席者 28名
欠席者 9名

出席率 75.67%

★第2903回
メイクアップ なし

★第2903回
修正出席率 84.21%⇒84.21%

ニコボックスの報告 平崎常任委員長

★若井会長・・・皆さん、元気に出席をお願いします。

★稲盛さん・・・入会、1年を祝して。

★魚津西RC会長 原 英高さん・・・母の葬儀お礼。

委員会報告

ロータリー友情交換委員会・・・愛宕委員長

1月29日、釜山釜一RC友情交換委員会を開催。訪問日程を5月18日(日)、19日(月)、20日(火)で釜一RCと調整したい。最終案が決定し案内しますので多数の参加をお願いしたい。

参加者は、同委員会の愛宕委員長、中島委員、広浜委員、若井会長、60周年準備委員会辻浩幹事、釜一RC担当委員長川岸が出席した。

本日の卓話 稲盛君 「振り返って半世紀」

私は百姓で、百姓以外はした事がなく、百姓の話を始めたら止まらなくなりますので、原稿を見ながら時間を守ろうと、時計を持参してきました。

昨年、入会したばかりの新人ですがよろしくお願いします。入会して感じたことは諸先輩の方々が、私のような若輩者に優しく・丁寧な御指導を頂き、毎回の例会を楽しみにしています。本当に感謝申し上げます。

私は、昭和19年3月9日、「サン・キュウ」に生まれ70歳になります。私の名前を父が「ガンジョイ・体」の岩雄を考えていましたが、祖父は、仙台で3番目に生まれたので、仙台の「仙」と三番目の「三」を取って「仙三」と決めたそうです。





私は稲盛家 13 代目という事を祖父から耳が痛くなるほど聞かされました。私が 65 歳の時に会社を 14 代目に継ぎましたので、今は何も「センゾ」です。

私は生後間もなく終戦を仙台で迎え、家は地主でしたので農地改革等により財産が無くなり、ご飯を食べる事も困難になり、父は国家公務員から県職に転職したことが現在に至っています。二人の兄は進学、私は農家の後継ぎ（父の

願い）として、愛知県の全寮制の農業専門の学校に進学しました。学校は 100 ヘクタールの敷地で、水稻、牛、豚、鶏、果樹、野菜、食品加工等の部門がありましたが、父は「水稻は県内で学べる」との進言で水稻以外を学びました。

卒業後、最初に野菜・切り花栽培に取り組みましたが市場規模が小さく安価なので直売を始めました。一方、鶏 50 羽から始めた養鶏業が順調に進み、鶏舎の増設は一人で屋敷の竹を切り、基礎・屋根工事を 1 万羽位まで毎年 1 棟ずつ建設し、また、鶏糞乾燥室（120 坪）、ぼかし製造場（40 坪）、倉庫（50 坪）、車庫等、全てが手作りです。

平成 4 年 2 月、私が親戚の結婚式のため不在の中、鶏舎から出火しました。鶏舎増設資金として 9000 万円の融資を受け、借金返済前の出来事で頭の中が真っ白となり、ただただ呆然となるばかりでした。

早い復興を思っていたときに、村の住民、友人、同業者、取引業者の方々 150 人位が跡片づけに駆けつけていただきました。近隣の方々には 1 週間も「コウリヤク」していただきました。また、妻の友人等 30 人位は皆さん方の食事の準備を行っていただきました。いやな仕事を「コウリヤク」の方々がやってくれました。ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。今、思うと涙が出ます。この気持ちは何十年経っても忘れてはならないと思っています。

その後、順調に復興を遂げ、某事業者との取引を生産量の 8 割出荷すねまでになりました。そんな時、同業者の一人が羨んで某事業者と取引の噂を聞いた矢先に、某事業者の幹部 5 名が家を訪れ、「こだわりの卵は要らない」の一言で頭が真っ白になりました。価格問題だと予想をしていましたが、これまで「こだわり」で事業を頑張ってきたので、「こだわり」の卵が要らなければ、価格交渉もせず逆にお断りしました。当時の会計士がその話を聞いて「それは倒産するしかない」と言われました。

しかし、私は負けるわけにはいかず「規模縮小、じみちに直売」に主力を置くように経営方針にきり変える一方、鶏舎火災での教訓から公害対策に取り組み、ここで出会っ

たのがEM菌でした。

このEM効果は、これまで鶏舎周辺の田んぼには稲穂が出ても実が入らなかったのが、EMぼかしを鶏に与えてからは稲穂に実が入り始めました。これは鶏糞からガスが発生していない事を実感しました。

EM効果は稲だけでなく、鶏の餌に「EMぼかし」と「EM発酵液」混合して与える事により、病気にならない鶏作り、鶏舎の悪臭を極端に少なくする環境改善、また、野菜は病気に強く甘味を増す等、生産体制の循環化を図ることが出来ました。

今まで鶏糞処理に悩んでいましたが、いなもりの鶏糞で野菜を作ると美味しくなるとの評判が広がり鶏糞の需要が多く、生産が追い付けないのが現状です。

石垣新では営農組合を結成し米づくりを行っています。稲づくりの基は土づくりです。鶏糞を6年間散布する事で、去年の異常気象の悪環境でも一等比率が100%と県内平均70%に比べてありえない結果が出ました。

また、洗卵選別作業場でEMを活用しています。一般の作業場と比較すると臭いが無く、排水管の清掃を行わなくてもヌメリが無く、改めてEM効果を実感しました。

EMに取り組んで20年を超えました。おかげで卵が美味しい。お米が美味しいと地元を始め、西は氷見市、高岡市、富山市、東は朝日町から直接店へ買いに来られ、今では5000人のお客様に愛されています。また、県外宅配も毎日行っています。

鶏舎火災によって、お客様、地元農家、地元住民との絆がとっても深くなったような気がします。

次に石垣新の紹介をします。

30年前は田園地帯に40戸の農家が点在していましたが、現在は区画整理等に伴い農道の拡幅、水路の整備や公園等の環境整備が進み225戸の住宅地と農地が混在する地域に変貌しました。

また、同地区からロッテ球団より一位指名された石川歩さんは、同じ営農組合の家族であることに誇りに思います。皆様方には、今後とも応援をお願いします。

最後に、この歳になると「ボケる」「物忘れ」を自覚するようになりました。大先輩の根岸さんのようにいつまでも元気でいたいと頑張っています。週に一度「ピンポン」で汗を流し、孫や友人とスキーを楽しんでいます。

今後の夢は、イギリスやスイスの農業・養鶏視察。スイスやカナダでのスキーが頭の中から離れません。夢を実現するように頑張ります。

